

## 第1回日向市立地適正化計画策定委員会 議事要旨

件名	第1回日向市立地適正化計画策定委員会
年月日	令和元年10月31日(木) 15:00~17:20
場所	日向市中央公民館 第4研修室
出席者	別紙座席表のとおり
内容	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 建設部長あいさつ</b></p> <p><b>3. 委員長選出</b></p> <p><b>4. 委員長あいさつ</b></p> <p><b>5. 協議事項</b></p> <p><b>(1)立地適正化計画の趣旨・概要</b></p> <p>意見なし</p> <p><b>(2)現状分析・課題抽出の報告</b></p> <p>委員長 膨大な資料を分析しているが、よくまとまっている。日向市は他都市に比べ、都市機能、居住地も整備されており、これまでのまちづくりの努力が実っていると感じる。一方で津波の浸水区域が他都市と比べて広いのでうまく対応が必要である。</p> <p>委員 バスの本数については課題として残っていると感じた。一方で、バス路線がこれほどの人口をカバーしているのだということに驚いた。これまでぷらっとバスとの連携、ダイヤの調整をそこまで見込んでいなかったのが、今後は考えていきたいと思う。</p> <p>委員長 居住誘導区域を設定した後に、交通をどのように考えていくのかという課題が出てくるので、その際はまたご意見をお願いしたい。</p> <p>委員 細島のバス路線は廃止になっているのか。</p> <p>事務局 細島は廃止して、代替の乗合バス細島を今年の10月から運航中である。</p> <p>委員 区画整理の成果がよく分かった。日向市の都市構造は非常によくできていて、山側と海の拠点である細島港が道路で結ばれており、道路網の骨格は充実している。一方で津波の問題があると感じた。津波で東日本大震災であれほどの被害を受けた。西日本豪雨等の土砂災害、台風の浸水の問題もある。今回の計画</p>

	<p>には防災の要素も入っているので、危ないところには住まないで、安全なところに都市機能を誘導していくということを議論できればと思う。</p> <p><b>(3)(仮)まちづくりの方針について</b></p>
委員長	<p>方針の中に記載されている「広域的な拠点性」は具体的に何を意味しているのか。</p>
事務局	<p>日向市駅周辺は、日向市だけではなく、日向入郷圏域の入口となっているので、広域的な位置づけとして周辺まで含めた拠点でありたいという意味で記載している。</p>
委員	<p>高齢者を中心に記載されているが、近年は障害者や性別の違いなど、地域共生社会という考え方がある。地域共生社会の中でいろんな立場の人（子育て世代や障害者）に配慮した拠点づくりという言葉も出てくるとよいと思う。</p>
委員長	<p>地域共生社会については、都市構造の方向「②高齢者等が暮らしやすく災害に強い暮らしの実現」や方針「②市民が安全に安心して暮らすことができる居住環境づくり」に反映させてはどうか。</p>
事務局	<p>検討したい。</p>
委員	<p>目標指標の官民連携による都市機能誘導に医療施設が入っている。病院は周辺、駅から離れたところにあり、公共交通機関を利用して来院する人も多い。介護タクシーもあるが、公共交通利用者の確保という意味でも医療と公共交通の連携も考えてよいのではないかな。</p>
委員長	<p>日向市は比較的施設が中心部の外に出ていない。医療施設の中でも再編などあるかと思うので、また意見が欲しい。</p>
委員	<p>日向市はモノづくり産業で発展してきたと言える。若年層の雇用に向けて頑張っているが、求人はなかなか苦勞しており、日向市の高校生の地元定着率は56%程で他都市は70%程度となっているが近年、少しずつ定着率が上がってきている。若い人が残る、出て行っても戻ってきてくれる、そんなまちにしていくなければいけない。高齢者だけではなく、若い人が残ろうという魅力もブラッシュアップすることが必要だと思う。人口の動態で20代が流出しているの、立適の中でも強く盛り込むべきではないかと思う。また、誘導方針、地域の名称</p>

	<p>については、駅名にはこだわらず地域に理解しやすい拠点名称がよいと思う。今後、議論していくことになる。大王谷運動公園はレクリエーション拠点というイメージを市民が持っているので、そういったものが良いと思う。</p> <p>記者投込などを行って、立地適正化計画策定の取組を市民へ積極的にアピールしていく必要があると思う。都市構造評価の他都市との比較については、指標に工夫が必要であると思う。</p>
委員	<p>マスタープランが基本構想で、立適はアクションプランである。どういったストーリーでどういった結果に持って行くかが重要である。アクションプランを行う中でどれだけソフトランディングしていくのか、そういった視点でストーリーを練っていくのが大切だと思う。</p> <p>方針の「①日向市駅のポテンシャルを活かした活性化と若者世代の定住」は、日向市駅のまわりに定住者を集めると考えてよいのか。日向市総合計画では若者の定着を標榜している。未来を担う若者をどう考えているのか。</p> <p>例えば地価の話、20代30代の定住を考えると、地価や賃貸の価格が安いところに人が集まる。そうすると地価や賃貸の価格が高くなっていく、そうなったときに若者定着と矛盾しないように、どう適正化を進めるかが課題である。</p>
事務局	<p>方針①については、課題として若者流出があると考えている。高齢者の対応だけではなくて、若者の定住を進めたい。そのためには都市の魅力をつくるということで日向市駅周辺のポテンシャルが高いと考えており、さらにポテンシャルを上げる必要があると考える。そこを入口として市全域に定着させるのか、日向市駅周辺に定着させるのかは今からストーリーや取組みを含めて検討が必要である。定住だけではなく、交流の視点もふまえて考えていくということが必要だと考えている。</p>
委員長	<p>立適では、計画でラインを引いていくが、若者の定住場所や空家の問題を視野に入れながら、エリアを考えるべきではないかと思う。</p>
委員	<p>計画を公表して、何がどのように変わるのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>立適では安全なところに暮らしていくように10年20年100年かけて誘導していく。例えば、都市機能誘導区域外に都市機能誘導施設が立地する場合は市に届出が必要になる。宅建業界や建築士と意見交換や情報共有を図っていきたい。中心市街地に人口集約するというのではない。丁寧な説明と情報公開が必要</p>

	だと考えている。
委員	コンパクトな市街地ということであるが、日向市の大きな病院は海側にある。南海トラフ巨大地震が発生し、津波の被害があった場合に、国道 10 号が水没したときにどうやって医療機関に行くのかと感じた。
委員長	面的に施設配置を検討することは重要だと思う。施設は従来と同じように活用できるように、この計画と危機管理の連携が必要だと思う。
委員	財光寺の区長から地区公民館の建設の話が出ていると思うが、市ではどう扱っているのか。また、南町の方が低く、大雨が降ると浸水する。このことについて市はどう考えているのか。
事務局	財光寺駅周辺地区は生活の拠点となっていくので、地区公民館は誘導施設として考えられる。公民館に関しては他の部署となるが、立適では将来そういったものも含めて対応できるような計画にしたい。 南町については、地元の声も含めて検討していく必要があると考えている。
委員	日向市ははじめからコンパクトな市街地を標榜してきたのでコンパクトな市街地である。まちづくりの未来像を市民の皆様にお示しすることが日向市では大切だと思う。市民のみなさんとプロセスを共有し、情報を共有することが大切である。立適や都市機能誘導の言葉はわかりづらい。市民のみなさんに分かりやすい言葉を使ってやっていかなくてはならないと思う。
事務局	次回、各委員からの意見を踏まえ、まちづくりの方針（案）等の検討をお願いしたい。